



## 角田 由紀子（つのだ ゆきこ）氏

弁護士

北九州市生まれ。

東京大学文学部卒業。1975年に弁護士登録。以後、東京弁護士会および日本弁護士連合会の女性の権利に関する委員会の委員を務め、1983年以降は女性の権利に関わる事件を多く手がけている。

1986年より民間のボランティア組織である東京強姦救援センターの法律アドバイザーも務めている。

セクシュアル・ハラスメントに関しては、沼津事件、福岡事件、秋田事件、東北大学事件、東北生活文化大学事件などを担当した。

1992年、8人の女性によるドメスティック・バイオレンス調査研究会を設立し、日本で初めての実態調査を行った。

1994年から1996年にかけて、アメリカのミシガン大学ロースクールで、研究員としてキャサリン・マッキノン教授の下で女性法学を勉強した。

2001年4月より、NPO法人「女性の安全と健康のための支援教育センター」の代表理事を務めている。

2003年1月から4月まで、ミシガン大学日本研究センターでトヨタ客員教授として、日本のセクシュアル・ハラスメントおよびドメスティック・バイオレンスについて教えた。

2004年4月より、明治大学法科大学院教授。

主な著書に「性の法律学」1991年 有斐閣、「性差別と暴力」2001年 有斐閣など、共著書に「女性・暴力・人権」1994年 学陽書房、「ドメスティック・バイオレンス」1998年 有斐閣などがある。